

農学生命科学部

第14回 研究推進セミナー

【第15回 発生・生殖生物学研究室コロキウム 共催】

【新学術領域研究 配偶子産生制御 共催】

幹細胞の居場所（ニッチ）の広さを決める仕組み ーショウジョウバエの遺伝学から分かることー

演者：林 良樹 先生

基礎生物学研究所

岡崎統合バイオサイエンスセンター・助教

日時：平成27年1月22日（木）

17:40～19:10

場所：弘前大学農学生命科学部402講義室



幹細胞は細胞分裂により、自分自身となる細胞と、分化する細胞を生み出すことが出来る細胞です。この細胞は日々分裂することで、継続的に組織に細胞を供給しており、適切な数の幹細胞が安定して維持されることは、私たちの組織を保つ上でとても大切です。組織内において、幹細胞はニッチと呼ばれる限られた領域に維持されることが知られています。このニッチの広さが、幹細胞の数を決めているといっても過言ではありません。私たちは幹細胞ニッチ研究の先駆的モデルであるキイロショウジョウバエの生殖幹細胞ニッチを用いて、ニッチの範囲が決まる仕組みを明らかにしてきました。本セミナーでは、生体内の幹細胞ニッチの広さが決まる仕組みについて、最新の知見を報告出来ればと思います。

主催：農学生命科学部生物学科 発生・生殖生物学研究室

小林一也（内線3587 kobkyram@cc.hirosaki-u.ac.jp）

共催：研究推進委員会 学部後援会